



四旬節 イエスと共に荒れ野へ、十字架に向かって

ジャン・ペンケレシ神父

イエスは洗礼を受けてからすぐ、聖霊によって荒れ野へ導かれて、悪魔に誘惑に合わせられます。荒れ野で40日の間、何をされたのでしょうか。悪魔の誘惑にいつも「こう書いてある」と答えられたことを見ると、神の言葉を思い巡らしておられたことに違いありません。

四旬節は荒れ野に退けられたイエスについて行くことです。神に近づくことを求め、復活されたイエスの新しい命に生きるために。ここで二つのことだけをお勧めしたいと思います。

・**神の言葉をゆっくり読むこと。** 信仰の基礎的な事を再確認するために次の箇所を勧めます。

創世記1章～4章16節：創造、人の罪。 創世記12章、15章、22章：アブラハムの信仰。
出エジプト記1章～4章(3:14 “私はある”)；11章～20章と24章：子羊の血、紅海、十戒、契約。

・**救いの源であるイエスの受難と、そこに現れる神の愛をより深く認識するように努めること。**

以下の聖書箇所を読み、思い巡らして、深く悟るように勧めます。

イザヤ53章と詩編22番：御受難の預言。 ローマ書3章～5章：皆は罪人、イエスの御血による無償の救い。

聖書は「神は愛である」と言っています(1ヨハネ4:8)。ところが私たちの中には愛はありません。自分の欲で動き、心に響く神の声に従わず、人を「自分のように愛して」いません。聖書で神は、すべての人が罪人であると言っておられます(ローマ3:9-20)。それだけでなく、「自分の望む善を行わず、望まない悪を行なっている」のですから(ローマ7:19)、愛である神と幸せに生きることは不可能です。この現実を認めて、認識していないと、救いの必要性和意味を理解することは難しいです。人間の心を見る神が言われることで、自分を素直に眺めたら、本当だと分かります。

けれども御父は、愛する子供たちが永遠に不幸になることを決して望みません。御子を遣わして私たちと同じ人間になさいました。この方は人類全体の中で罪のない者、神と人を完全に愛する唯一の正しい人でした。しかし御父は、イエスに私たちの罪の責任を、負わせられました。

神は何百年も前に、それを予めイザヤ預言者に示されました(53章)。人間イエスはその使命を受け入れ、私たちの罪のために残酷な苦しみを受けて命を捧げられました。死に至るまで御父の望みに従い、自分を苦しめる者を赦し、最後まで愛し抜かれました。その一人の正しい人の従順と愛によって、あらゆる時代・あらゆる国の人々は、御父の御前で罪が全て赦され、永遠に神の命と幸せに与る者とされました。イエスの死の時、神殿の垂れ幕が裂けたことはその印でした。

御父はこれほど私たちを愛し、イエスはあれほど私たちのために苦しまれたことを思う時、御父にも、イエスにも深い感謝と愛情が心に湧いてくるのではないのでしょうか。私たちキリスト者の信仰はそれです：御子を下さった御父の愛を信じ、私たちのために苦しまれたイエスの愛を信じることです。「イエスは私たちのために、命を捨ててくださいました。そのことによって、私たちは愛を知りました。だから、私たちも兄弟のために命を捨てるべきです。」(1ヨハネ3:16)

2018年2月度住吉小教区評議会議事録

日時・場所 2018年2月18日(日) 11:00~12:17、第2会議室

出席者 14名(評議会成立)

始めの祈り

星の園幼稚園からの連絡・調整事項 特になし

議事

- 1 行事予定(ミサお知らせ参照) 追記、変更について
3月21日 教区叙階式(エリック助祭、上田 憲助祭)

- 2 2月24日(土) 神戸地区社会活動委員会静修会(講演・ミサ 申 繁時神父)
15:00 ミサ(聖堂) 準備・片付け(レジオ・マリエに依頼) 現在50名

- 3 聖週間の典礼について
例年どおり(司式 すべてエマニュエル神父)
3月29日 19:00 聖木曜日 主の晩さんミサ、洗足式準備中
3月30日 19:00 聖金曜日 主の受難
3月31日 19:00 復活徹夜祭ミサ、成人洗礼式(3名の予定)
4月 1日 9:30 復活の主日ミサ、初聖体(3名の予定)、お祝い会

- 4 3月11日 前田万葉大司教住吉教会司牧訪問について
教会概要プリント(前回原稿を参考に議長U氏作成)、すみよし誌(1年分) 準備
豚汁、おにぎり(準備 C地区) 茶話会、なお上田憲助祭が同行されます。

- 5 3月18日 住吉教会四旬節黙想会について(講話 パンケレシ神父)、ゆるしの秘跡

- 6 2018年度予算(追記) 教区納付金(B) 増額、
プロジェクター、パソコン購入の報告有り。

- 7 その他検討、報告事項
 - (1) 司祭金祝・銀祝 情報が入り次第お知らせ
 - (2) 救護対応について 小聖堂に救急箱設置中。
 - (3) ミサ送迎 宣教T・司牧T・地区会を中心に出来るだけニーズに沿えるようメンバー確保の呼びかけを継続して行きます。

終わりの祈り

☆次回評議会 4月15日(日) 11:00、第2会議室にて
小教区総会 4月22日(日) 10:45、聖堂にて

聖週間について

典礼チーム

今年も四旬節の半ばになり、まもなくわたしたちは1年でもっとも大切な、ご復活の日を迎えます。その直前の聖週間は次のような日程になります。

(1) 3月25日(日)受難の主日〔枝の主日〕 9時半

この日は主キリストのエルサレム入城と受難という、二つの出来事を記念します。わたしたちはシュロの枝を持って聖堂の入口に集まり、枝の祝福を受けた後福音の朗読を聞いて、司祭と奉仕者に続いて聖堂に入ります。ミサの中では、キリスト・語り手・群衆などに役割を分担して、キリストの受難が朗読されます。今年はB年にあたるためマルコ福音書から読まれます。

(2) 3月29日(木)聖木曜日 19時 主の晩さんの夕べのミサ

キリストが聖体を制定し、ご自分の記念として行うように命じた“最後の晩さん”を記念します。またキリストが弟子の足を洗った出来事になって、司祭が数人の信者の足を洗う洗足式もおこなわれます。拝領祈願の後、御聖体は別の安置所に移されます。祭壇上のはすべて取り除かれ、キリストの受難と死が始まったことを表します。わたしたちは仮安置所の御聖体の前で祈ります。

(3) 3月30日(金)聖金曜日 19時 主の受難

この日はキリストの受難と死の意義を思い起こして断食し、また救いへの過越の途上なのでミサはありません。聖堂に集まって、「言葉の典礼」で役割を分担したヨハネによる受難の朗読を聞き、盛式共同祈願ののち「十字架の礼拝」がおこなわれ、「交わりの儀」の中であらかじめ聖別された聖体をいただきます。

(4) 3月31日(土)復活徹夜祭 19時 復活の聖なる徹夜祭

本来は夜を徹してキリストの復活を記念する典礼でしたが、住吉教会では夜の7時から行われています。典礼は次の「光の祭儀」「言葉の典礼」「洗礼と堅信」「感謝の典礼」の4部で構成されています。

①「光の祭儀」 聖堂の外で祝福された火が復活のろうそくにともされ、皆で「キリストの光」「神に感謝」と歌いながら、列になって真っ暗な聖堂に入ります。その後復活のろうそくから各々のろうそくに火がともされ、“復活賛歌”が歌われます。

②「言葉の典礼」 照明をつけろうそくを消して着席した後、旧約聖書が読まれます。全部で七つありますが、当教会では第1朗読(創世記)、第3朗読(出エジプト記)、第7朗読(エゼキエルの預言)が読まれ、それぞれ答唱詩編と祈願がつきます。その後祭壇のろうそくに火がともされ、“栄光の賛歌”を歌い、“使徒パウロのローマの教会への手紙”、アレルヤ唱、福音朗読と続きます。

③「洗礼と堅信」 この徹夜祭は初代より洗礼式にもっともふさわしい時と考えられてきました。住吉教会でもこの日に洗礼と堅信を受け、初めてご聖体をいただく方を迎えます。またすでに信者であるわたしたちも、各自の洗礼を思い起こし、神の子として生きる決意を新たにします。

④「感謝の典礼」 ここからはいつもの主日のミサと同じように行われます。

(4)4月1日(日)9時半 復活の主日〔日中のミサ〕

この日はアレルヤ唱の前に“復活の続唱”を歌います。また初聖体のお恵みをいただく方もおられますので、信者たち皆で喜びを分かち合います。